



みのわ通信No. 69

発行：箕曲市民センター（〒518-0441 名張市夏見215番地）

TEL/FAX：63-0453

Email:minowa-ko@emachi-nabari.jp

伊勢湾台風来襲から60年

多くの家屋が濁流にのまれる！

我が身、我が家、我が箕曲は大丈夫？

昭和三十四（一九五九）年九月二十六日、この名張では朝から雨が降り、午後は次第に風雨が強くなり、異様な空気が漂っていたそうです。午後八時には雨量が三〇〇ミリメートルを超え、更に奈良県山岳地帯では六五〇ミリの集中豪雨となり、この水が鉄砲水となり名張川に集まりました。箕曲地域では、夏見の糸川橋の橋脚に流れてきた大木やゴミが引っかけたり、せき止められたために、その濁流が人家や畑にどっと流れ込み、名張川左岸の夏見下出、下川原、瀬古口、箕曲中村広保のほとんどが浸水し、更に夏見坊垣も水害を受けました。この台風による地域内の死者・行方不明者は五名。家屋の流出二四戸、全壊と半壊四七戸、床上浸水二四〇戸と市内で最大

箕曲地域防災訓練

11月16日(土)

この日、名張市では総合防災訓練が実施されます。災害時における市や地域及び関係機関の連携に基づく訓練となっています。

9時に災害が発生、市災害対策本部より箕曲地域災害対策本部に連絡が入る。

当日の地域での訓練内容は、次回のみこの通信で案内します。当日の行動は区長、班長(小場長)より具体的に伝達の予定です。(詳細は次号にて)

の被害となりました。災害復旧も自衛隊や他地区の方々の協力もありましたが、一か月にわたりました。その後、流された橋も強固に修復され、河川改修や守り神となった青蓮寺ダムが建設されました。そのおかげで、大きな災害は今まで起きていません。

近年は想定外の豪雨や大型台風による甚大



な災害を受けている地域が続いています。「天災は忘れた頃にやってくる」この機会に我が家の備え、隣近所との連携・見守り、そして地域の安全について点検してみましょう。

実りの秋 〜稲刈り

猛暑の夏を乗り越えて、九月十四日に「稲刈りイベント」を実施し、七年目となりました。酒米「神の穂」を酒米サポーターさんに教えて頂きながら、刈取りとはさ掛けを施し、天日干しにすることができました。

来春にはこだわりの地元酒「純米大吟醸みのわ」と「特別純米酒みのわ」が出来上がる予定です。

また、学校田のもち米の収穫も十七日に終了し、子どもたちがお待ちかねの「もちつき大会」は十一月の予定です。

